

東北の地方選 野党共闘

8/20
土曜日

安保反対 候補一本化

東北で相次いで行われる地方選挙で、野党が攻勢をかける。20日の岩手県知事選挙を前に、野党5党首は19日、現地で記者会見して共闘をアピール。主な首長選で候補を一本化し、内閣支持率下落を追い風に安全保障関連法案への反対を訴えている。与党は同知事選で擁立を断念したほか、防戦に追われている。



達増拓也・岩手県知事（左から3人目）の支援のため集まった、民主党・岡田克也代表（右から3人目）ら野党の5党首＝盛岡市内のホテル、渡辺哲哉撮影

■今後の東北での主な地方選挙

投開票日	選挙名
8月23日	盛岡市長選・市議選
9月6日	岩手県知事選・県議選
9月13日	山形市長選
10月25日	宮城県議選
11月15日	福島県議選

「知事選勝利を起爆剤に、安保法案を廃案に追い込むための力を合わせたい」。19日、盛岡市であった民主、維新、共産、社民、生活の党首と現職知事による共同会見。民主の岡田克也代表は5党で現職を推す意義をそう強調した。衆院岩手4区の生活・小沢一郎代表は、与党の推した平野達男参院議員の立候補断念に対し「国政与党たる自民党が一度推薦しながら、情勢が不利と思ったのか辞退させることは、全くもって不見識だ」と批判した。

野党は相次いで行われる東北の地方選を「みちのくシリーズ」と呼び、首長選で共闘する。同知事選に続き、23日投開票の盛岡市長選、9月13日投開票の山形市長選で、候補が競合するのを避けた。

特に共産が岩手県知事選で独自候補を擁立しないのは1979年以来だ。同党は今月2日投開票の仙台市議選でも5選挙区中三つでトップ当選。民主執行部は野党共闘で、特に共産の勢いを取り込みたい考えだ。

ただ、野党が一連の選挙と国会でどこまで結束できるかはわからない。民主内で集団的自衛権の行使を容認する保守派には、共産との共闘に抵抗がある。山形市長選でも、維新の柿沢未途幹事長が民主、共産などの推す立候補予定者を応援したのに対し、関西地盤の議員が反発を強め

る。民主、共産が「大阪都構想」の住民投票で反対したためだ。維新で東北の選挙責任者の小籠慎司衆院議

風向き変化 自民防戦

自民党は防戦を強いられつつある。19日、山形県連会長を務める遠藤利明五輪相は、自民党本部で谷垣禎一幹事長らと山形市長選をめぐって会談した後、周囲に「9月13日投票というのが微妙だ」と心配した。

投票日の直前に、世論の反対が根強い安保法案が参院で成立するとみられているためだ。今春の統一地方選で自民党は推薦・支援した10道県知事選で全勝したが、県連関係者は「安保で風向きが変わった」と分析する。

員（福島4区）が混乱の責任をとるとして、筆頭副幹事長などの役職の辞任届を松野頼久代表に出した。

会で安保法案を「遺憾」と断じた小林節・慶大名誉教授と並ぶポスターも作った。民主幹部は「市長選で勝利すれば『世論は法案にノー』だと強く訴えられる」と語る。

自民党側は「本来、安保は市長選の争点にならないはず」と言う。だが風向きを読んだのか、2013年の知事選で自民党の一部も推した吉村美栄子知事も野党側についた。10月には宮城、11月は福島で県議選を控えており、一連の地方選に向けて党幹部が応援に入るほか、各種団体への働きかけを加速させる方針だ。（渡辺哲哉、秋山惣一郎）